

令和7年度 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	家庭	ライフデザインα	全	2	なし	なし
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践し、創造的に解決する力を身に付けている。 ・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、自己の家庭生活や地域の生活の向上に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 				
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	オリエンテーション	学校家庭クラブ活動とは		<ul style="list-style-type: none"> ・学校家庭クラブ活動について理解する。 	
	5月	テーマ設定	テーマの設定		<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組める課題を見つけることができる。 	
	6月	計画の作成	年間計画の作成		<ul style="list-style-type: none"> ・目標を的確に把握し、具体的な計画を立てることができる。 	
	7月	実践	<ul style="list-style-type: none"> ・データの収集 ・実態調査 ・問題点の把握 		<ul style="list-style-type: none"> ・データの内容に沿った資料を様々な方法で収集できる。 ・目的を理解し、的確な方法で実態調査ができる。 ・実態調査から生活上の課題を発見することができる。 	
	9月	里孫活動 ※実施は適宜	実践		<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識を持ち、意欲的に活動を実践することができる。 	
	9月	里孫活動 ※実施は適宜	里孫活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活の充実向上を目指して活動することができる。 	
後期	10月	実践	工夫と改善		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って実践し、実践活動を発展させることができる。 	
	11月	まとめ	反省と評価		<ul style="list-style-type: none"> ・実践を振り返り、成果と今後の課題を考察することができる。 	
	12月	里孫活動 ※実施は適宜	里孫活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の生活の充実向上を目指して活動することができる。 	
	1月	里孫活動 ※実施は適宜				
	2月	里孫活動 ※実施は適宜				

令和7年度 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	家庭	ライフデザインβ	2年次以降	2	なし	なし
学習の到達目標			○「ライフデザインα」での学習をさらに発展させ、次のことを学習の到達目標とする。 ・学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について具体的に理解するとともに、関連する技術を身に付けていく。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践し、創造的に解決する力を身に付けている。 ・課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、自己の家庭生活や地域の生活の向上に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	実践	オリエンテーション	学校家庭クラブ活動とは	・学校家庭クラブ活動について理解する。	
	5月		テーマ設定	テーマの設定	・意欲的に取り組める課題を見つけることができる。	
	6月		計画の作成	年間計画の作成	・目標を的確に把握し、具体的な計画を立てることができる。	
	7月		資料収集		・テーマの内容に沿った資料を様々な方法で収集できる。	
	9月		実態調査		・目的を理解し、的確な方法で実態調査ができる。	
	9月		問題点の把握		・実態調査から生活上の課題を発見することができる。	
後期	10月	まとめ	実践	実践	・目的意識を持ち、意欲的に活動を実践することができる。	
	11月		工夫と改善		・地域の生活の充実向上を目指して活動することができる。	
	12月		反省と評価		・計画に沿って実践し、実践活動を発展させることができる。	
	1月				・実践を振り返り、成果と今後の課題を考察することができる。	
	2月		里孫活動 ※実施は適宜	里孫活動の実施	・地域の生活の充実向上を目指して活動することができる。	